

地域協議会

●令和5年度第3回地域協議会（令和5年10月3日開催）



大宮公民館改修工事について（地域コミュニティ課から報告）

- ・管理棟1階は、公民館職員の机や椅子を地域事務所側へ移動して、多目的に活用するスペースとする。
具体的には、当該スペースは交流スペースと図書スペースと一緒に配置し、図書の本棚を可動式にするこ
とで、レイアウトの変更も簡単にでき多様な使い方ができる部屋にする。
 - ・調理実習室は、会議室としても使えるようキッチン台を壁付けにし、中央に机と椅子を配置する。
 - ・エレベーターを新設する。
 - ・管理棟の2階（小研修室）は、和室の畳敷きの部屋をフロアシート張りにし、子育て講座等で使用できる
仕様で授乳スペースを確保する。
 - ・大集会室（体育館）は、トイレの改修と床の張替え、一部壁の塗り直し等を行っている。シャワー室をなく
し、その分を収納スペース（倉庫）として確保する。
- ※改修工事完了後は大宮公民館が地域活動の拠点となり、幅広い世代の人達が新たに公民館に集うことで
地域活動、生涯学習活動の幅が広がることを期待したいとの説明があった。

「地域まちづくりのあり方検討に係る地域協議会の意見」について（大宮地域事務所から説明）

- ・平成18年1月の合併を機に地方自治法に基づく地域自治区制度を導入し、地域協議会と地域まちづくり
推進委員会を要として、防災・福祉・環境活動など様々な分野に取り組むなど、住民主体によるまちづくり
が進展してきた。しかしながら、制度導入から17年が経過する中、人口減少や高齢化等の社会環境の変
化により、地域まちづくりに係る担い手不足や特定の人材への負担の集中など、様々な課題も見られてい
る状況にあることなどから、今後の持続可能なまちづくりのあり方について検討することとなった背景の
説明を行った。
- ・令和5年1月に、地域の代表や学識経験者からなる検討会を市が設置して検討を行い、8月に当該検討会
により「地域まちづくりのあり方検討に係る報告書」が提出されたことから、報告書の内容について委員
の意見を取りまとめ担当課（地域コミュニティ課）へ提出した。

お宝事業報告

事業者の「宮崎公立大学民芸学研究室みやざき市民伝承文化力支援研究会」の永松教授と池内小学校が、
池内地区の農家の協力を得て、児童が昨年6月に田植えを行った水田で水稻（池内米）の稲刈りを行った。



池内小学校児童による池内米の稲刈体験学習（令和5年10月3日）